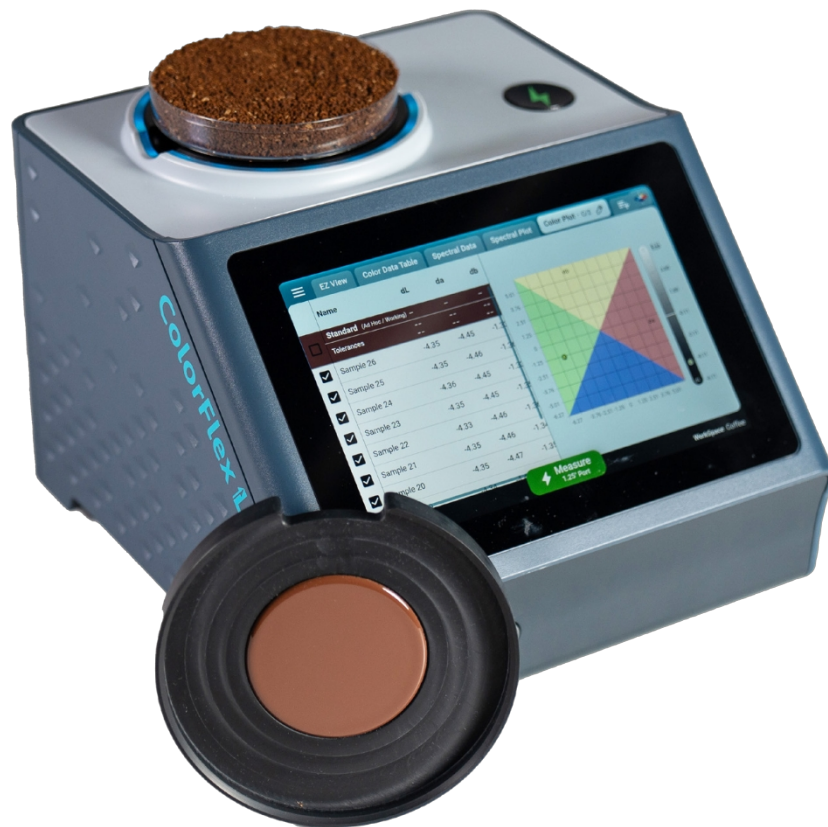


ColorFlex® L2 Coffee クイックスタートガイド

A60-1021-738 ver. 1.0



世界における真の色測定

HunterLab

A

装置のセットアップ

1. ACアダプタのプラグを、ColorFlex L2 Coffee の背面にあるポートに接続します。

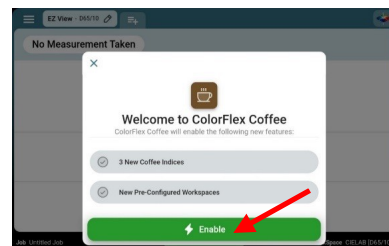


2. ACアダプターの電源コードを壁のコンセントに差し込んでください。
3. 本体の背面にあるスイッチを使って、ColorFlex L2 Coffeeの電源を入れてください。
4. Essentials ソフトウェアが自動的に起動し、「初回セットアップ」ダイアログが表示され、言語、地域、日付、時刻の設定を求められます。設定が完了したら、「完了」をクリックしてください。
5. 上記のセットアップが完了すると、機能を紹介する「ウェルカムウィザード」が表示されます。画面の指示に従って、ソフトウェアの操作に慣れてください。完了すると、装置は標準化の準備が整います
。右上隅にある HunterLab アイコンをクリックすれば、いつでもウィザードを再実行できます。
6. （オプション）HDMIケーブルを使用して、モニターをColorFlex L2 Coffeeに接続してください。

B

COFFEE ライセンスの有効化

1. Coffeeのライセンスファイルが入ったUSBメモリをColorFlex L2 Coffeeに接続してください。EssentialsはUSBメモリ内のライセンスファイルを自動的に認識し、ダイアログを表示します。「有効化 (ENABLE)」をクリックして、ColorFlex L2 Coffee Essentialsを起動してください。



C

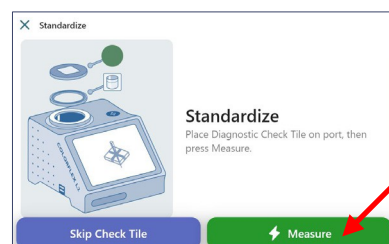
標準化

1. 標準ポートプレート（31.8mm、1.25インチ）を取り付けます。反射率¹。
ブラックガラスをセンサーポートに設置します。「STANDARDIZE」ボタンを押します。
2. プロンプトが表示されたら、反射率用ブラックガラスを取り外し、校正済み機器標準（ホワイトタイル）をポートに設置します。「MEASURE」を押します。
3. 校正済み機器標準（ホワイトタイル）を取り外します。次に、2.
診断チェックタイル（緑色のタイル）をポートに置き、「MEASURE」を押して続行します。
1.25インチの標準ポートプレート用の診断チェックタイルの値は、工場出荷時に設定されており、タイルの裏面に記載されています。

オプション：「診断チェックタイル」のテストをスキップするには、「SKIP CHECK TILE」をタップします。スキップすると機器の性能に影響が出る可能性があり、警告が表示されます。

メッセージが表示されます。

注：診断チェックタイルのテストに失敗した場合は、校正済み機器標準タイル（白いタイル）、診断チ



エックタイル、および／または黒いガラスを清掃し、

、テストを再度実行してください。問題が解決しない場合は、HunterLabサポートにお問い合わせください。

D HUNTERLAB リファレンス標準品 - コーヒー

HunterLab リファレンス標準物質 - コーヒー：本製品を使用して、装置がコーヒーの茶色を正しく測定しているかを確認してください。以下の手順で実行できます：

システムメニュー → 機器設定 → 診断 →

HunterLab リファレンス標準-コーヒー、

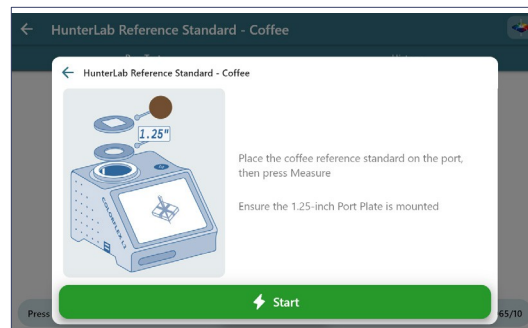
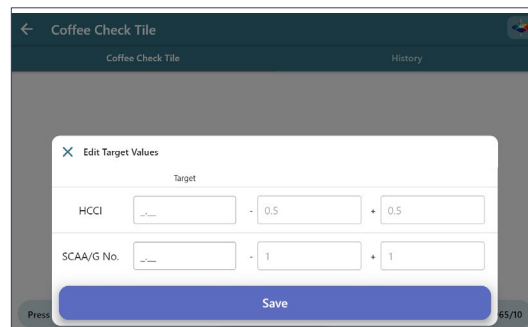
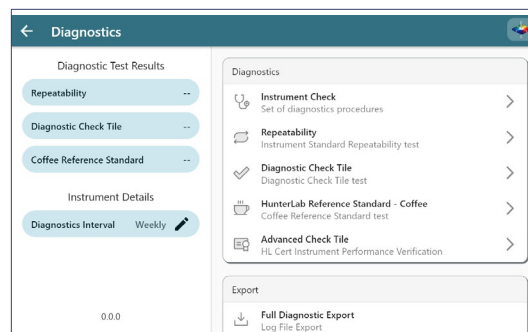
または、以下の完全な診断シーケンスの一部として実行できます：

システムメニュー → 定期診断、

これには、信号テスト、再現性テスト、診断チェックタイル（緑のタイル）、およびハンターラボ リファレンススタンダード-コーヒーが含まれます。画面の指示に従って、ハンターラボ リファレンススタンダード-コーヒーのテストを実行してください。

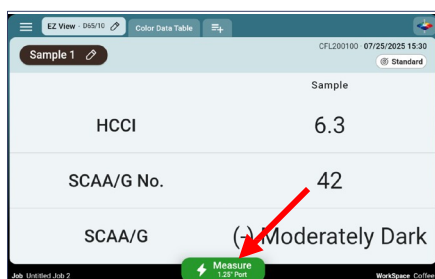
測定値は、HCCI では ± 0.5 、SCAA では ± 1.0 の範囲内で、HunterLab 基準標準品-コーヒーの裏面に記載された基準値と一致する必要があります。

。



E サンプルの読み取り

1. サンプルを準備し、ペトリ皿に入れます。
2. サンプルをポートに置きます。MEASURE ボタンを押します。



新しい機器の電源を入れたら、

以下のデフォルトのワークスペースが読み込まれます：

表示： EZ View

カラーインデックス： HCCI、SCAA/G No.、SCAA/G

光源／観察者： D65/10度

標準タイプ： アドホック／ワーキング

注：デフォルトで2つのワークスペースが作成されています：CIELAB (D65/10) および HunterLab (C/2)。これらのワークスペースは変更できません。ただし、ワークスペースを編集して新しい名前で保存することは可能です。

F

標準およびコーヒー用インデックスの設定

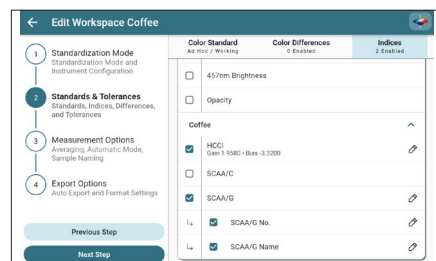
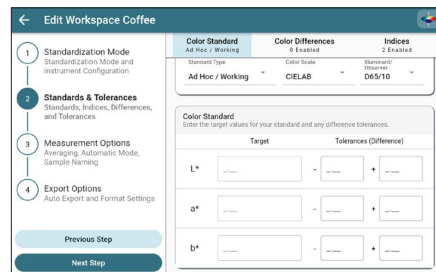
1. Coffeeワークスペース（アドホック／ワーキング標準タイプ）では、最初のサンプル測定値が自動的に標準として設定されます。これを変更するには、新しいサンプルを測定し、サンプル名ボックスの鉛筆アイコンをクリックして、「標準として設定」を選択します。

あるいは、画面右下の「WORKSPACE」を押します。「EDIT CURRENT

WORKSPACE」を選択します。「NEXT STEP」を押して、「STANDARD & TOLERANCES」ステップに進みます。ここで、数値、物理、またはヒッチの標準値を作成できます。

追加のコーヒー指標を選択するには：

2. 「INDICES」タブをタップし、「Coffee Scores」まで下にスクロールします。希望するコーヒー指標にチェックを入れます。鉛筆アイコンを使用して許容差を追加し、必要に



G

て「Absolute」または「Difference」の許容差を選択します。
簡単な差異を表示するようにEZ VIEWを編集する

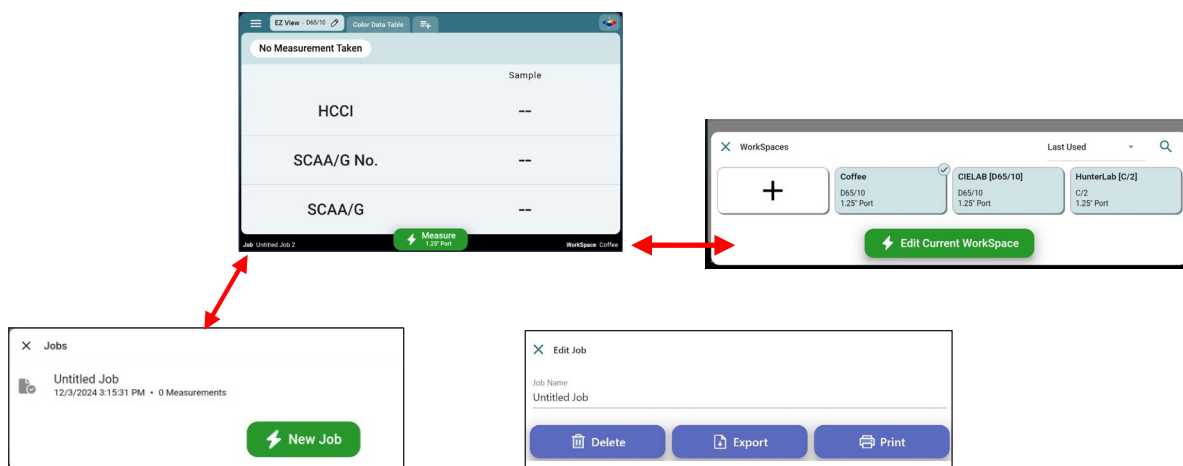
1. メイン画面で、「EZ View」タブの横にある編集アイコンを選択します。次に、「表示オプション」を選択します。「標準を表示」と「差を表示」の横にあるラジオボタンをクリックすると、単純な差が表示されます。
DIFFERENCES」の横にあるラジオボタンをクリックすると、単純な差異が表示されます。

	Standard	Sample	Difference
HCCI	6.3	6.3	0.0
SCAA/G No.	42	42	0
SCAA/G	(-) Moderately Dark	(-) Moderately Dark	--

H

ワークスペース／ジョブの変更または追加

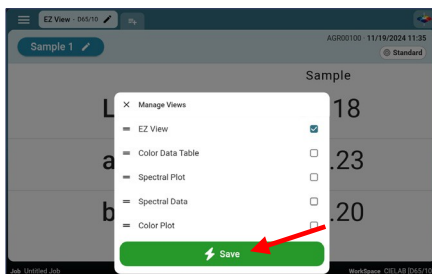
1. 画面右下のワークスペース名をタップして、ワークスペースを変更または新規追加します。ワークスペースダイアログに従って、差異／インデックスの編集、読み取りオプション、データエクスポートオプションなどを設定します。
2. 画面左下の「JOB」名をタップして新しいジョブを作成するか、既存のジョブをタップしてジョブ名の編集、ジョブの削除・印刷、ジョブのエクスポート（.xls、.csv、または.pdfファイル）を行います。



I

ビューの追加

1. 「EZ View」タブの横にある  「EZ View」タブの横にあるビューアイコンを使用して、他のビューを追加します。目的のビューの横にある **追加** アイコンを選択し、**保存** を押します。



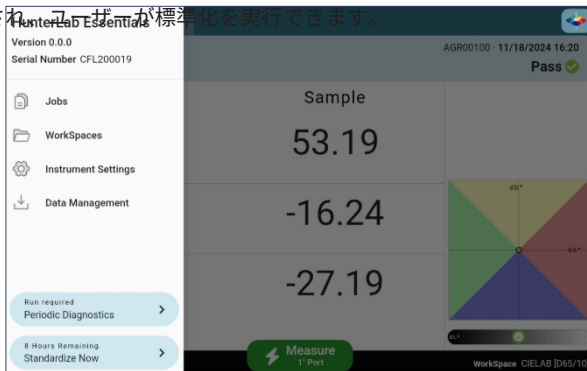
J

「システム」メニューのその他の項目



画面の左上隅にある3本のバーのアイコンをタップして、システムメニューを起動します：

1. 「ジョブ／ワークスペース」は、「ワークスペース／ジョブ」ダイアログを開く別の方法です。
2. 「機器設定」では、標準化間隔の選択、ColorFlex EZ 機器からの製品設定のインポート、日付・時刻の変更、言語の選択、画面の向き反転、セキュリティ設定を行うことができます。
3. 「データ管理」では、ジョブおよびワークスペースファイルを.ezm2形式（外部アプリケーションでは読み取れません）でフラッシュドライブに保存できます。
4. 「定期診断」では、診断のステータスが表示され、ユーザーが診断を実行できるようになります。
5. 「標準化」では、現在のステータスが表示され、ユーザーが標準化を実行できます。



本機器の使用に関するより詳細な手順については、『ColorFlex® L2 Coffee ユーザーマニュアル』をご参照ください。機器のメンテナンス、操作、修理に関する詳細については、support.hunterlab.com をご覧ください。

